

倫 理

(解答番号 ～)

第1問 次の文章を読み、下の問い(問1～3)に答えよ。(配点 8)

気の合う人たちや仲間との関係のみを重視し、それ以外の人たちとは^{かか}関わろうとしない若者が増えていると言われる。他者への関心や関わりあいをもとうとしない、その見方は、個人への配慮を欠いた画一的なものとなりがちである。このような、人々を画一的に^{とら}捉える見方は①ステレオタイプと呼ばれる。

ステレオタイプは、自分たちの集団の同質性を強めることで安心感を与えてくれるだけではなく、自分たちが否定されたり批判されたりする恐れや不安を回避する②防衛機制として機能する側面ももっている。他方でステレオタイプは、人々をもつ個性を軽視したり、他の集団の人たちを排斥したりすることにつながる。

自分たちとは、言動、考え方、世代などが異なる人たちを「うざい」などと決めつけて遠ざけてしまうことも、ステレオタイプの一形態と言えるだろう。関わりあいを避け、他者をステレオタイプの的に捉えることは、自分たちの考え方を絶対視することにつながり、アイデンティティの確立に悪影響を及ぼす。そして、このことは社会との関わりの中かで、自分を律する力や、③自他に対する柔軟な見方、また社会に対する幅広い関心を形成する機会を奪ってしまうことに結び付くだろう。

問 1 下線部④に関して、次のア～エの発言について、ステレオタイプの見方による発言を○、ステレオタイプの見方による発言ではないものを×とした場合、その組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

1

ア 「やせた体型をしている人というのは、物事に対して多かれ少なかれ神経質な意識と行動パターンをもっている。」

イ 「女性はもともと他者と密接な関係をもちたいと考えているので、子どもや人の世話をするような仕事に適性がある。」

ウ 「フリーターやニートと呼ばれる人たちのなかにも様々な人がいるが、共通する傾向として多かれ少なかれ甘えがある。」

エ 「最近の若者は、中高年の人たちが若かったころに比べて、我慢や辛抱というものができなくなってきている。」

- ① ア ○ イ × ウ ○ エ ○
 ② ア × イ ○ ウ ○ エ ×
 ③ ア ○ イ ○ ウ ○ エ ○
 ④ ア ○ イ × ウ ○ エ ×
 ⑤ ア ○ イ ○ ウ × エ ○
 ⑥ ア × イ × ウ × エ ×

倫 理

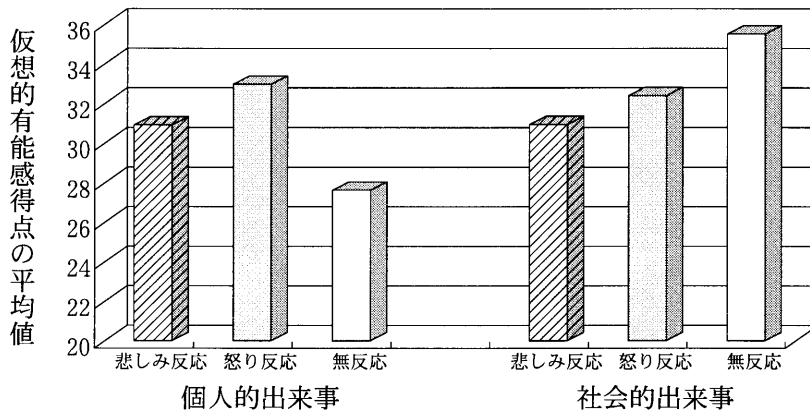
問 2 下線部⑤に関して、防衛機制の種類とその説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 抑 圧：自身で認め難い自らの観念や欲求が、自分には無いかのように思い込んでいること
- ② 投 影：身近な他者が抱いている欲求を、あたかも自分自身のものであるとして映し出すこと
- ③ 代 償：攻撃性や性的な衝動などの欲求を、社会的に価値ある活動への欲求に転化すること
- ④ 合理化：合理的な判断によって、適切な問題解決に向けて自分自身を導いていくこと

問 3 下線部㉔に関連して、次の図は、高校生約 600 名について、個人的出来事と社会的出来事への感情反応を三つに分類し、それぞれの感情反応を示した人たちの仮想的有能感得点の平均値を比較したものである。ここでいう個人的出来事とは、楽しみにしていた約束事を破られたというような事態であり、社会的出来事とは、テロ事件のような事態である。また仮想的有能感とは、明確な根拠もなく他者を見下すことで自分が優れていると思うことである。この調査結果から読み取れることとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

3

図 感情反応ごとの仮想的有能感得点の平均値の比較



速水敏彦『他人を見下す若者たち』(2006年)より作成。

- ① 個人的出来事と社会的出来事のいずれに対しても悲しみを感ずる高校生は、他者を見下す程度が高い。
- ② 個人的出来事および社会的出来事に対する感情反応と、他者を見下す程度との間には、明確な関連が無い。
- ③ 個人的出来事に対する高校生の感情反応の無さは、他者を見下す程度が高いことと関連している。
- ④ 個人的出来事に対して怒りを感ずる高校生と、社会的出来事に対して無反応な高校生は、他者を見下す程度が高い。

倫理

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

クラブではレギュラーになれなかったことに拘^{こたわ}ったり、馬が合わない人とはグループを組むことを避け続けたり、恋をすればその人のこと以外考えられなくなったりする。このように、人は様々なことに囚^{とら}われながら生きている。ここでは、既成の価値観や考え方などに対する囚われについて、先哲の思索に触れてみよう。

囚われは、身近な問題意識をきっかけに気づかれることがある。苦の問題を克服しようとしたブッダは、㉑生老病死という苦も、我執こそがその根本原因であることを洞察した。また、魂の動揺を問題とした㉒ストア派のゼノンは、恐怖や欲望などの情念は誤った価値判断に囚われることから生ずるものと理解した。

ところで、先哲の巧みな譬^{たと}えは、我々の囚われに気づかせるとともに、自らの考えを相対化することで、囚われから自由になれることを示している。プラトンは人間を洞窟の中で縛られた囚人に譬え、我々が感覚的なものにしか目を向けないことを問題にした。ここでは、感覚的世界は㉓イデア界の影であり、善のイデアへの魂の向き直りが哲学の目的とされた。一方、世俗的な価値観に囚われているとして㉔儒家を批判した荘子は、胡蝶の夢の寓話のなかで、蝶と自分の区別はないと説いた。さらに、是非や善悪などの対立は相対的なもので、人為や対立を超えたひとしい絶対的世界こそ真実だとして、この世界の有^{ありさま}様を と呼んだ。

また、囚われから離れられるのは、囚われに気づくとともに、より良き生き方が示唆されるからであろう。イスラーム以前のアラブの人々は、㉕多神教である部族の宗教に従うことが正しい道であると考えていた。彼らのなかにイスラームに惹かれる人々が現れた理由の一つは、部族の保護を得られなくなった社会的弱者を救済し、互いに連帯する生き方が、クルアーン(コーラン)の中で提示されたことであろう。パウロもまた、はじめは に代表される従来の律法を厳格に守ることに固執していた。しかし、イエスの教えと出会うことを通して自らの傲慢^{ごうまん}さに気づかされた彼は、イエスの福音の中に㉖新しい生を見いだすこととなった。

人は気づかないまま、何かに囚われていることがあるが、自分の考え方を相対化する心のあり方を身に付けるといことは、囚われている自分に気づき、より良き生き方へと、心の窓を大きく開くことになるだろう。

問 1 文章中の ・ に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

<input type="text" value="4"/>	{	① 逍遙遊	② 万物齊同
		③ 無為自然	④ 心齋坐忘

<input type="text" value="5"/>	{	① 三 宝	② 四 書
		③ 五 戒	④ 十 戒

問 2 下線部③に関して、ブツダの教えをまとめた四諦の各々についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 苦諦：自分の欲するままにならない苦は、努力で克服するのではなく、人生は苦であると諦めることあきらで、心の平安を得られるということ
- ② 集諦：あらゆる存在は、因と縁が集まって生ずるから、実体のない我に固執せず、他者に功德を施すことで救いが得られるということ
- ③ 滅諦：滅は、もともと制するという意味であるが、欲望を無理に抑えようとせず、煩惱がおのずから滅することに任せよということ
- ④ 道諦：快樂にふけることや苦行に専念するという両極端に近づくことなく、正しい修行の道を実践することが肝要であるということ

倫理

問 3 下線部⑥に関して、ストア派の人々が説いた「自然に従って生きよ」とは何を意味するのか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 文明化された都市においては理性的な判断を感わすものが多いため、自然の中で魂の平静を求めて生きよ、という意味
- ② 感情に左右されやすい人間の理性を離れ、自然を貫く理法に従うことにより、心の平安を得て生きよ、という意味
- ③ 人間の理性を正しく働かせ、自然を貫く理法と一致することで、心を乱されることなく生きよ、という意味
- ④ 人間の理性を頼みとして努力をするのではなく、自然が与えるもので満足することを覚えよ、という意味

問 4 下線部③に関して、プラトンの考え方に合致するものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① アイデアは個物に内在する真の本質であり、感覚ではなく、知性だけがそれを捉えることができる。
- ② アイデアは生成消滅しない真の存在であり、感覚ではなく、知性だけがそれを捉えることができる。
- ③ アイデアは個物に内在する真の本質であり、感覚は知性の指導のもとにそれを捉えることができる。
- ④ アイデアは生成消滅しない真の存在であり、感覚は知性の指導のもとにそれを捉えることができる。

問 5 下線部①に関連して、次のア～エは諸子百家の思想家たちの考え方であるが、それぞれ誰の思想であるか。その組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

ア 人は先王によって定められた礼を身に付ければ争いを未然に防ぐことができ、各自が社会規範を守れば社会秩序は維持される。

イ 天命によって天子となった者も、ひとたびその徳を失えば新たな有徳の者にとって代わられるが、その革命には武力も認められる。

ウ 高い徳を積んだ人格者が政治に当たれば、その徳はおのずから国民を感化して秩序が保たれ、国家は安寧に統治される。

エ 厳正な法に基づく信賞必罰によって利己的な本性を抑止すれば、国民は罰を恐れて悪事をなさず、安定した国家統治が実現できる。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 韓非子 | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 荀子 |
| ② | ア | 韓非子 | イ | 荀子 | ウ | 孔子 | エ | 孟子 |
| ③ | ア | 荀子 | イ | 韓非子 | ウ | 孟子 | エ | 孔子 |
| ④ | ア | 荀子 | イ | 孟子 | ウ | 孔子 | エ | 韓非子 |
| ⑤ | ア | 孔子 | イ | 荀子 | ウ | 韓非子 | エ | 孟子 |
| ⑥ | ア | 孔子 | イ | 孟子 | ウ | 荀子 | エ | 韓非子 |

倫 理

問 6 下線部㉔に関して、ムハンマドの思想が旧来の多神教と対立した要因の一つに挙げられるものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① ムハンマドが説いた唯一神の教えは、部族制に基づいた多神教を否定し、アッラーの前でのすべての人間の平等を主張することで、部族の枠を越えた共同体の形成を促した。
- ② 旧来の多神教では、モーセやイエスの説いた神であるヤハウエをアッラーと並べようとするが、ムハンマドが説く唯一神の教えはヤハウエを認めようとしなかった。
- ③ 部族制に基づいた多神教はメッカのカーバ神殿と結び付いた偶像崇拝的要素を有していたので、ムハンマドはメディナへと移住し(聖遷)、以後、カーバ神殿での礼拝そのものに反対した。
- ④ ムハンマドを救い主として信じることは六信の一つであるにもかかわらず、旧来の多神教を信奉する部族の長たちは、ムハンマドの宗教的権威を認めようとしなかった。

問 7 下線部①の内容の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 律法を知らない異邦人に対しても、回心を促し、預言者によって新しくされた律法に生きる喜びを伝道する生き方
- ② 過去のパリサイ派としての生き方を悔い改め、自ら罪を贖^{あがな}うことで、将来は救われるという希望にあふれた生き方
- ③ 律法を守ることのできない者であっても、罪を赦^{ゆる}す神の愛を信じることによって、互いに相手を大切にする生き方
- ④ 罪人を排除するのではなく、憐^{あわ}れみの心をもって接し、律法的に正しい者へと成長を促す、教父にふさわしい生き方

問 8 本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 誰にとっても囚われから自由になるのは難しいことであるが、自らの囚われを見つめることができたとき、それは、囚われから解き放たれ、より良き生き方の端緒が得られたことを意味している。
- ② 人々がより良き共同体を形成するために最も必要なことは、それぞれの人が、自分にとって当然のこととされている価値観に対する囚われを捨て、他者と同じ価値観を共有することである。
- ③ 囚われに気づくことは難しいだけでなく、直接的に指摘されてもなかなか受け入れ難いため、先哲たちは、巧みな比喻による示唆が最も有効な方法であると考え、これを用いることに精力を傾注した。
- ④ 囚われは、情念による判断の誤りを理性によって克服できるという過信から生ずるものであるから、そのような傲慢を捨てることによってこそ、より良き生き方への門口に立つことができる。

倫理

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

人は、出会いによって新たな思想や生き方を切り開いていくことがある。ここでは、日本の先人の例を通して、出会いをきっかけにどのように思想が展開し、深化していったかについて考えてみよう。

仏教をさらに深く学ぶため唐に渡った空海は、密教の僧惠果に出会った。帰国した空海はそれを真言密教として体系化し、13と一体化することで即身成仏できると説いた。また、自らの罪業ざいごうに思い悩んでいた親鸞は、比叡山を下り、京都の六角堂さんろうどうで参籠していたときに④観音菩薩から夢告を受けたという。その後、法然の門下に入り、朝廷による⑤念仏停止に連座して流罪るざいとなった。惠信尼と巡り合い妻としたのは、その頃である。阿弥陀仏の救済力を説く親鸞は、この出会いを通して凡夫としての自覚をいっそう強め、彼の思想は人々に受け入れられていった。

戦国の動乱による民衆の苦しみを憂え、自身の無力を嘆いた⑥臨済宗の僧藤原惺窩は、早くから儒学を志してもいた。惺窩は、慶長の役で連行された朝鮮の朱子学者姜沆カンハンに接し、その学識と人格に強く心を動かされる。惺窩が⑦身を転じ、儒学者として独立した背景の一つには、この出会いがあった。一方、当時の身分社会では低い地位にあった商人たちのなかにも、日々の生活のなかで出会った信仰や学問をもとに、新しい思想を生み出す者がでてきた。例えば、14は、神道や仏教、儒教と老荘思想などを取り入れ、独自の実践的哲学である心学を打ち立てた。

近代に入り、西洋諸国の仲間入りをするために⑧文明開化路線を推進する人々が現れる。しかし、アジア諸国の思想や美と新たに出会うことで、それまでになかった思想を展開する者もいた。その代表的な人物である柳宗悦は、朝鮮の日用雑器ざつと出会い、それを生み出した名も無き工人たちの無私の心に触れた。柳は、そこに芸術家が創り出した美術品まさに優る、生活のなかで磨かれた美を直感し、日本の職人の工芸品にも同じ美を見いだして、それらを民芸と呼んだ。この美に対する独特の捉え方とらに基づいて、柳は、陶芸、木工、染織などの、⑨近代化の流れのなかで忘れ去られた手仕事の価値を広く知らしめ、その保存と再生に生涯を捧げた。

以上の人々は、自らの思想や人生を展開するにあたって、出会いを重要な契機としていることが分かる。いずれも、Aと言えよう。

問 1 文章中の 13 ・ 14 に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

- | | | | | |
|--|---|------------------|---|------------------|
| 13 | { | ① 弥勒菩薩
③ 釈迦如来 | { | ② 法蔵菩薩
④ 大日如来 |
| 14 | { | ① 安藤昌益
③ 荷田春満 | { | ② 石田梅岩
④ 富永仲基 |

問 2 下線部④に関して、次の文章は、観音菩薩が夢のなかで親鸞に告げたとされる言葉である。この文章と本文^{あわ}を併せて理解した場合、親鸞の信仰の特徴についてどのようなことが言えるだろうか。最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

あなたが宿業あってももしも女性と結ばれるならば、私^{あな}がその女性となってあなたと結ばれよう。一生の間あなたを尊いものとして照らし、臨終においてはあなたを導いて極楽浄土に生まれさせよう。

(かくによ、ごでんしょう
覚如『御伝鈔』による)

- ① 親鸞は、この世で恵信尼を妻としたことで観音菩薩にも結び付き、僧でも俗でもない立場から生活に根ざした教えとして他力信仰を説き広めた。
- ② 親鸞は、この世で恵信尼を妻としたことによる罪業^{あがな}を贖うために観音菩薩にも帰依し、そのことを通して生涯にわたって他力信仰を説き広めた。
- ③ 親鸞は、異性に対する煩悩に苦しんだが、観音菩薩に帰依することで煩悩を抑えることができ、人々の苦しみに心を寄せて他力信仰を説き広めた。
- ④ 親鸞は、異性に対する煩悩に苦しんだが、観音菩薩の智慧^{ちえ}と一体化することで煩悩を克服し、生まれ変わりの思想として他力信仰を説き広めた。

倫理

問 3 下線部⑤に関して、法然が天台宗など旧仏教から迫害を受けた理由として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 浄土に往生する手立てとして、他の様々な修行法によらずもっぱら念仏を称^{とな}えることを説いたため。
- ② 旧仏教を改革しつつ、悟りを求める心を軽視する立場を批判して、民衆教化に努めたため。
- ③ 釈迦の没後、次第に人心が乱れ、仏教が衰え、世がすさむとする思想を社会に広めたため。
- ④ すべての生ある存在を救おうと願い、その願いが成就しない間は決して成仏しないと誓ったため。

問 4 下線部③に関連して、日本臨済宗の開祖である栄西の教えとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 仏の眼差^{まなざ}しから見れば、貧富や身分の上下は見せかけにすぎない。為政者は仏の眼差しを心にとめて人々に対するべきだ。
- ② この世界は、欲望や苦悩に満ちている。この世をけがれた世として厭^{いと}い、極楽浄土に往生することを願い求めなければならない。
- ③ 山川や草木といった、心をもたないものさえも仏性を持ち、ことごとく真理と一体になって成仏することができる。
- ④ 末法の時代であっても戒律を守り、坐禅の修行に励み、国家に役立つ優れた人物を育成することが重要である。

問 5 下線部①に関連して、惺窩の思想的展開の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

18

- ① 禅宗が支配層の支持を集めていたのに対し、民衆の強い支持を得ていた儒学の影響力の大きさに注目し、国教にすることを主張した。
- ② 実社会の利害にまみれた禅宗よりも、出世間を説く儒学の教えに深く共感し、権力者におもねることなく多くの優れた弟子を養成した。
- ③ 道徳や礼儀による社会秩序を説く儒学の教えに強く引かれ、儒学を五山僧の教養から独立させて、近世日本に定着させる端緒をなした。
- ④ 身分秩序を重んじ社会の安定を説く儒学に心を動かされ、徳川家康に仕えて、幕藩体制を支える学問としての朱子学の基礎を固めた。

倫 理

問 6 下線部㉔に関連して、次の文章は、福沢諭吉が文明について記述したものである。その説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

19

昔鎖国の時にありては、わが人民はもとより西洋諸国なるものをも知らざりしことなれども、今に至りてはすでにその国あるを知り、またその文明の^{ありさま}有様を知り、その有様を我に比較して前後の別あるを知り、わが文明のもって彼に及ばざるを知り、文明の後るる者は先だつ者に制せらるるの理をも知るときは、その人民の心にまず感ずるところのものは、自国の独立^{いかん}如何の一事にあらざるを得ず。

(福沢諭吉『文明論之概略』)

- ① 西洋よりも後れている日本は、東洋の伝統的精神のうえに、西洋文明をもつばら知識・技術として積極的に摂取すべきである。
- ② 西洋文明を知ることによってかえって模倣に陥り、独立が危うくなる可能性があるため、その受容には慎重であるべきだ。
- ③ 後れている文明が進んでいる文明に支配される理屈は誤りであることを、西洋文明の摂取においても主張しなければならない。
- ④ 後れている文明は進んでいる文明に支配されるため、人々はまず日本の独立に心を向け、西洋文明を摂取しなければならない。

問 7 下線部①に関連して、近代日本の思想家たちが経験した出会いの説明として
 適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 新渡戸稲造は、キリスト教に出会い、日本人はこれを土台として武士道の精神を育むべきであると説いた。
- ② 鈴木大拙は、若いころに西田幾多郎と出会い、友人として切磋しつづつ、禅思想の近代的研究に先べんをつけ、それを広く海外に紹介した。
- ③ 武者小路実篤は、学生時代にトルストイの思想に出会い、その人道主義に共感して、理想社会を目指して「新しき村」を建設した。
- ④ 折口信夫は、柳田国男に出会い、彼に学びつつ民俗学と国文学にまたがる研究を行い、日本の神の原像について考察した。

問 8 本文の趣旨を踏まえて、Aに入れる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 人、思想、事物など出会った対象は様々であるが、その人格やそこに表現された心に正面から向き合うことで、かえって他者の立場から適度な距離を保ち、これを尊ぶ思想を培うに至っている
- ② 人、思想、事物など出会った対象は様々であるが、自分にとって重要な出会いを見逃さず、出会いを通して自己のあり方への自覚を深め、それがなければ成立しなかったような独自の思想を展開している
- ③ 人、思想、事物など出会った対象は様々であるが、日常生活でまず巡り合うことのない対象から影響を受け、逆に対象に変化をもたらすことで、社会に大きな影響を与える思想を展開している
- ④ 人、思想、事物など出会った対象は様々であるが、その対象に自身の悩みを委ね、同時に、他者の悩みをも受け止めることで、自分の人生の目的だけに拘らない自由な思想に至っている

倫理

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 24)

私たちは科学の恩恵を受けているが、科学を生み出した思考のあり方を正しく理解しているだろうか。

元来、英語の《science》という語は、ラテン語の①スキエンチア(知識一般)に由来する言葉であった。それが今日言うところのサイエンス(科学)を意味するようになったのは、ガリレイやニュートンの力学など、経験的方法に基づく知識としての近代科学が誕生した、16～17世紀以降のことだと言われている。

近代科学の特徴は、経験の裏付けがない独断論を排し、経験的で合理的な思考法を尊重する点にある。具体的には、観察や などの方法を用いて、仮説を検証することを試みるのである。近代科学の成立にあたって、新しい学問の方法を提示して重要な役割を果たした人物に、デカルトとベーコンがいる。デカルトは、合理論の立場から、これ以上疑い得ない根本原理から出発して 演繹法を重視した。一方、②ベーコンは、経験論の立場から、真理を探究する方法としての帰納法を提唱した。しかし③ヒュームは、経験科学を支える方法の確実性に疑いを抱き、懐疑論の立場に立つことになる。

19世紀になって近代科学が専門分化し、複数形のサイエンシズ(個別諸科学)へと変化するにつれて、自然科学の方法は、他の学問にも強い影響を及ぼすようになる。自然諸科学の方法を取り入れた新しい学問の立場は④実証主義と呼ばれ、コントのように、これを学問進歩の最終段階であるとする主張も現れた。しかし、20世紀に入ると、実証主義万能の風潮に対しては、現象学や批判理論などの立場から、厳しい批判がなされることになる。

現代では、以上のような科学の基礎をなす思考法に対する理論的な反省だけでなく、科学の発展がもたらした⑤新たな倫理的問題への現実的な対応を迫られてもいる。また、科学の名を借りた⑥疑似科学が流行するという現象も、今日的な問題であると言えよう。その意味で、現代とは、科学を可能にした精神の正の側面と負の側面が明らかになった時代にほかならない。そう考えると、私たちは、近代以降の科学を支える思考法の特徴を視野に入れつつ、人間と科学との関係についての反省を、さらに重ねていくことが必要となるであろう。

問 1 文章中の 22 ・ 23 に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの①～④のうちから一つずつ選べ。

22	{	① 反省	② 実験
		③ 対話	④ 観想

23	{	① 確実な推論を行う	② 問答を繰り返す
		③ 対立する主張を止揚する	④ 観察に基づき判断する

問 2 下線部④に関連して、13世紀に最盛期を迎えたスコラ哲学は、中世におけるスキエンチアの典型とみなされる。そのスコラ哲学の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 存在忘却に陥った形而上学を解体し存在への問いを新たに開始する。
- ② ギリシア・ローマの古典を学ぶことによって人間の自立性を回復する。
- ③ ギリシア以来の哲学を用いキリスト教神学の教義を理論的に体系づける。
- ④ ただ生きることではなく善く生きるための方法を対話によって学ぶ。

倫理

問 3 下線部⑥に関して、ベーコンが批判した四つのイドラの記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 種族のイドラ：人間は、正確な感覚や精神を^{そな}えているが、個人的な性格の偏りや思い込みによって、事物の本性を取り違える可能性があるということ
- ② 洞窟のイドラ：人間は、種に特有の感覚や精神の^{ゆが}みを免れ得ないため、人間独自の偏見に^{とら}われて、たやすく事物の本性を誤認してしまうということ
- ③ 市場のイドラ：人間は、他者との交流の中で人が発した言葉を簡単には信頼しないため、しばしば真実を見失い、不適切な偏見を抱きやすいということ
- ④ 劇場のイドラ：人間は、芝居等を真実だと思い込むように、伝統や権威を盲信して、誤った学説や主張を無批判的に受け入れてしまいがちだということ

問 4 下線部③に関して、ヒュームの懐疑論の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 科学の方法は絶対的な真理を保証するものではないのだから、すべての判断を停止することによって心の平静を保つべきである。
- ② 最も賢い人間とは、自分自身が無知であることを最もよく知っている人間なのだから、自己の知を疑うよう心がけるべきである。
- ③ 帰納法から導かれる因果関係は、観念の習慣的な連合によって生じたのだから、単なる信念にすぎないことを認識すべきである。
- ④ 人間はたえず真理を探究する過程にある以上、真理は相対的なものでしかあり得ないので、つねに物事を疑い続けるべきである。

問 5 下線部㉑に関連して、実証主義と同じく人間や社会の捉え方に影響を与えた新たな理論の一つにダーウィンの進化論がある。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 人間を含めた生物は、突然変異と自然選択に基づいて、環境に適応することにより、系統的に分化して、多様なものとなっていく。
- ② 人間を含めた生物は、部分としての器官からなる全体的な有機体であるが、社会も部分としての個体からなる有機的な集合体である。
- ③ 人間を含めた生物は、想像を絶するほど多様であるため、偶然の諸連鎖ではなく突然の創造によって誕生したと考えざるを得ない。
- ④ 人間を含めた生物は、遺伝的に優れた形質をもつ子孫を保護し、劣るとされる形質をもつ子孫を排除すべく管理されるべきである。

問 6 下線部㉒に関して、科学の発展に伴って、20世紀以降、新たに生じてきた倫理的問題の記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① 遺伝子技術を用いて身体能力の増強を図るドーピング技法の開発
- ② 生態系に配慮せず自然を利用した帰結としての野生生物種の減少
- ③ 一般市民を無差別的に殺りくする大量破壊兵器の非人道的な使用
- ④ 人工的に培養したヒト初期胚の破壊を伴う多能性幹細胞株の樹立

倫 理

問 7 下線部①に関して、様々な定義があり得るが、次の文章を参考にして、疑似科学的な発言の例として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

29

言葉の定義からして、疑似科学には「科学のようで」「科学でない」という二つの条件が必要である。……

「科学でない」ことの一つの目安として、その分野の中心的な主張が正統科学から否定されていることは疑似科学の重要な特徴だろう。……

次に「科学のようで」という方だが、その分野の研究者たち自身は自分達のやっていることが科学的であると主張していたり、少なくとも科学の装いをまもっていたりすることも疑似科学の特徴として入れておきたい。

(伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』)

- ① 「血液型性格判断が科学的に否定された場合でも、ふだんの会話の中で盛り上がる話題としてそれをもち出すのならば、全く問題はないよね。」
- ② 「血液型性格判断が科学の教科書で否定されたとしても、血液が生命を維持しているのだから、やはりそれは科学的に見て正しいはずだよね。」
- ③ 「血液型性格判断がある種の研究者により正しいと主張されたとしても、新たな反証によって否定され得るので、絶対視しない方がいいよね。」
- ④ 「血液型性格判断が現在までの研究で否定されたのなら、それを覆す明確な証拠が出されない限り、科学の主張としては信用できないよね。」

問 8 近代科学の思考法に関する主張のうち、本文の趣旨に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 現代社会は科学の名を借りた非合理的な主張が広まりやすい危険な社会である。こうした社会で安全に暮らしていくためには、近代精神が生み出した帰納法や演繹法等を巧みに駆使して、科学的な思考を使いこなしていくことが不可欠である。
- ② 人間は生まれながらにして様々な先入見に囚われているため、科学の危うさを見落とししたり、科学もどきの言説にだまされたりする。そのようなことがないように、我々は経験的なデータを重視する実証主義的な態度を貫くことが重要である。
- ③ 現代人は多くの点で自然科学の恩恵に浴しているが、同時に、科学のもたらす負の遺産にも直面している。我々はこうした科学のあり方を意識しつつ、近代以降の科学の発展をもたらした思考法の可能性と限界を問い続けることが大切である。
- ④ 近代科学は人類を新たな思考の態度へと導いたが、その後の科学の展開において、様々な問題を生み出してもいる。このような科学の欠点を克服するために、我々は近代科学の思考法を乗り越える、さらに新しい思考法を確立する必要がある。

倫理

第5問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

安全な社会で暮らすことは、私たちの切なる願いである。同時に、個人の自由が十分に保障されていることも、私たちの幸福には不可欠である。では、安全と自由というこの二つの理念は、どのような関係にあるのだろうか。このことについて、架空の国のF国とS国の市民(FさんとSさん)の対話を読んで、考えてみよう。

F：私の住むF国では、個人の自由が何よりも大切です。護身用に銃やナイフを持つのも個人の自由。経済活動も、規制が少ないから自由な取引が活発に行われています。『国富論(諸国民の富)』を書いた 31 流の「小さな政府」の発想で、医療も福祉もすべて民間任せです。

S：だけど、あなたの国では、まるでホップズの言う①自然状態みたいに、銃やナイフによる暴力が絶えないでしょう。不況で失業しても本人の責任にされるし、公的な医療や年金もないから、病気や老後の備えはすべて自己責任。それじゃ、安心して生活できず、かえって不自由じゃないですか。

F：確かにそういう批判もありますね。では、あなたの国はどうなんですか？

S：S国では、安全な暮らしが最も重視されています。②社会保障が充実しているから、ゆりかごから墓場まで国が面倒を見てくれます。街には防犯カメラがどこにでもあり、新聞やテレビ、ネット上の掲示板や電子メールも、政府が常にチェックしてくれています。地域社会では、子どもの安全を守り高齢者の孤独死を防ぐために、③個人情報の共有も進められています。おかげで安心して暮らせます。

F：なるほどね。でも、あなたは息苦しくないんですか？ それじゃ④オーウェルの描く監視社会ですよ。人々の活動が常に見張られていたら、自由に行動したり発言したりできないでしょう。いくら安全のためとはいえ、個人の自由やプライバシーを二の次にする国では、かえって不安で暮らせませんよ。

F国とS国、どちらの国でも幸福に暮らせそうにないと思う人は多いのではないだろうか。だが現代社会は、常にこのいずれかに近づく可能性を孕^{はら}んでいる。

⑤安全な暮らしと個人の自由をうまく両立させる原理はあるのだろうか。これは、現代に生きる私たちに課せられた未解決の難問である。

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アダム・スミス ② ベンサム ③ オーウェン ④ マルクス

問 2 下線部③に関して、自然状態に言及している思想家たちの著作の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 『リヴァイアサン』には、自然状態にある人間は一般意志に従い自由で平和に暮らしていたとある。
- ② 『統治論(市民政府論)』には、自然状態は理性的な自然法が支配する平和な状態だとある。
- ③ 『人間不平等起源論』には、自然状態における人間の一生は「きたならしく、残忍で、しかも短い」とある。
- ④ 『社会契約論』には、自然状態は各自が自己保存の権利を恣意的に追求する闘争状態だとある。

問 3 下線部④に関連して、日本では今日、社会保障制度の見直しが議論されている。その背景に関する記述として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 家族形態の多様化や女性の社会進出に伴い、家族機能の外部化が進んだ。
- ② 医療技術の発達に伴う死亡率の低下により、老年人口の比率が高まった。
- ③ 都市化や核家族化の進展により、地域社会の相互扶助機能が強まった。
- ④ 高度経済成長期を境にして、出生率が低下し、少子化が急速に進んだ。

倫理

問 4 下線部㉔に関連して、次の図は、日本国内の地方公共団体が保有する高齢者や障害者の情報を、防災や防犯のために、関連する部局や自主防災・防犯組織といった団体と共有することをどのように考えるかについて尋ねた結果である。この図の説明ア～エについて、その正誤の組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑧のうちから一つ選べ。 34

図 防災・防犯のための個人情報の共有・活用



内閣府「個人情報保護に関する世論調査」(平成18年9月)より作成。

(注) 小数第二位を四捨五入しているため、割合の合計は必ずしも100%にはならない。

- ア 総数で見ると、「防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」と答えた者は、ほぼ3人に2人である。
- イ 総数で見ると、「防災・防犯のためであっても、個人情報を共有・活用しない方がよい」と答えた者は、10人中1人に満たない。
- ウ 性別で見ると、「防災・防犯のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」と答えた者の割合は、女性で高くなっている。
- エ 年齢別に見ると、「防災・防犯のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」と答えた者の割合は、年齢層が高くなるにつれ高くなっている。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 誤 |
| ② | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |
| ③ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ④ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 | エ 誤 |
| ⑤ | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ⑥ | ア 正 | イ 正 | ウ 正 | エ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 | エ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |

倫 理

問 5 下線部㉑に関して、ジョージ・オーウェルが1949年に発表した『1984年』は、ビッグ・ブラザー(偉大な兄弟)が支配する監視社会を描いた小説であり、現代社会の様々な問題を予見したことで知られている。次の文章を読み、その説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

印刷技術の発明は世論操作をより容易なものにし、映画とラジオの出現はその流れを加速させた。テレビが登場し、また技術的進歩によって一つの装置で同時に受信と送信ができるようになると、ついに私的な個人生活は終わりを告げるに至った。全市民、あるいは少なくとも要注意の市民は警察当局による一日二十四時間体制の監視下に置くことができるし、他の通信手段をすべて塞いで政府の宣伝だけを聞かせることもできるのだ。国家の意志に対する完全な服従を強制できるばかりか、あらゆる問題に対して完全な意見の一致を強制できる可能性まで、今や初めて存在するに至った。

(ジョージ・オーウェル『1984年』)

- ① マスメディアが、事実在即した正確さよりも疑似イベントの提供に奔走する危険性を予見している。
- ② 双方向性の通信技術を用いて、個人の行動や思想が統制される危険性を予見している。
- ③ 現実世界から切り離された仮想現実(バーチャル・リアリティ)のなかに個人が埋没する危険性を予見している。
- ④ ハッカーによる不正アクセスやコンピュータ・ウィルスにより、個人情報ろうえいが漏洩する危険性を予見している。

問 6 下線部㉔に関して、J. S. ミルの次の文章を読み、そこに述べられている考えに即した意見として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

36

文明社会の成員に対し、彼の意志に反して、正当に権力を行使し得る唯一の目的は、他人に対する危害の防止である。……そうする方が彼のためによいだろうか、彼をもっと幸せにするだろうか、他の人々の意見によれば、そうすることが賢明であり正しくさえあるからといって、彼になんらかの行動や抑制を強制することは、正当ではあり得ない。

(J. S. ミル『自由論』)

- ① 自動車のシートベルトの着用は、事故が起きたときに本人を守ることになるから、強制してよい。
- ② 健康な若者がお年寄りに席を譲ることは、^{だれ}誰もが認める正しい行為だから、強制してよい。
- ③ 飛行機の離着陸時に携帯電話を使うことは、電子機器に影響を与える可能性があるから、禁止すべきだ。
- ④ クローン人間をつくることは、国際的にも国内的にも世論の強い反対があるから、禁止すべきだ。

倫 理

問 7 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① Fさんの考えでは、個人の活動に対する規制が少なく、社会保障が政府に任されているF国は、自由に暮らすことができる社会である。
- ② Sさんの考えでは、子どもや高齢者の安全を重視し、政府に対する監視も充実しているS国は、安心して暮らすことができる社会である。
- ③ Sさんの考えでは、個人の自由を尊重するあまり、貧困や病気といった問題に政府が取り組まないF国は、不安が多くて暮らしにくい社会である。
- ④ Fさんの考えでは、安全な暮らしを尊重するあまり、個人の自由やプライバシーを過度に保護するS国は、息苦しくて暮らしにくい社会である。